

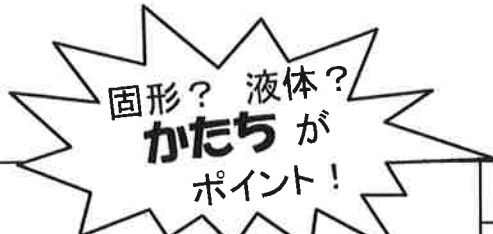


2月ほけんだより



認定こども園あゆのさと
看護師 石黒治美
2020.2.3

厳しい寒さの中でも、毎日元気いっぱいな子どもたち。マラソンや外遊びなど、寒さに負けず体を動かしています。
冬の感染症というとインフルエンザが代表格ですが、この時期、お腹の調子が悪い子(下痢・腹痛・嘔吐)も増えてきます。



どんな症状の時に休むのか、どの程度回復したら登園できるのか、保護者の方が毎回頭を悩ませるところではないでしょうか。今月号ではその点についてお話しします。

	固形? 液体? かたちがポイント!		下痢便		
	硬い便 コロコロ	普通便 バナナうんち	軟便 ポツレリ	泥状便 ドロドロ	水様便 ビチャビチャ
便の形状	 水分量70%以下のコロコロした便	 健康な便	 ある程度形はあるが、非常に柔らかい	 形がはっきりせず、べつとりとした泥のような便	 ほぼ水のような便。水に溶けたり、浮いてバラバラになる
め登や園すの	OK	OK	食欲や腹痛、顔色などお子さんの様子で判断して下さい。登園時には、必ず職員に便の事を伝えて下さい。	2回以上出たら、ご家庭で様子を見るか、受診しましょう。医療機関を受診して、感染するものでないわかれば、病後児保育もご利用できます。	
保連絡中の	特になし	特になし	便の回数や形状、お子さんの体調により 集団保育が難しい場合には、お知らせします。	保育中に2回以上出たら、ご連絡します。迎えをお願いします。	

冷たい物の食べ過ぎやお腹を冷やしたなど、下痢の原因に心当たりがある場合もあるでしょうが、下痢の多くはウイルス感染でおこります。また、発症後1週間以上にわたり便中にウイルスを排出することもあり、ごく少量のウイルスでも感染します。子どもは意外にデリケートです。下痢になると体力の消耗が激しく、脱水や急変もおこりうることを考え、**原則として、下痢をしている期間は登園を控えていただきます。**在園中の軽度の下痢は、保育士が慎重に対処します。ただし、大量の下痢や複数回の下痢、おう吐や腹痛が出現した場合には、保護者の方にご連絡します。

登園のめやすは、お子さんの健康回復と他児への感染の可能性を考慮しています。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

=欠席の連絡について=

電話やバスキャッチで欠席の連絡をする場合は、必ず「**欠席理由**」をお知らせください。**病気でお休みの時は詳しく教えていただくと助かります。**
ご協力をお願いします。



早退後の受診のおねがい

発熱や下痢・腹痛など登園後の体調不良で、お家の方にお迎えをお願いすることがあります。その場合(体調不良で早退したとき)は、原則として**医療機関の受診**をお願いします。
「熱が下がった」「大丈夫だった」と、翌日登園しても体調がすぐれず早退を繰り返すケースも少なくありません。こども園は集団生活の場です。ご協力をお願いします。